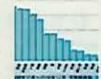


感染症から身を守ろう

研修内容

- 

1. 感染症とは
垂直感染
水平感染
- 

2. 最近の感染者数
新型コロナウイルス
感染症
季節性インフルエンザ
- 

3. 新型コロナウイルス
感染症について
どのような病気？
かかってしまったら
- 

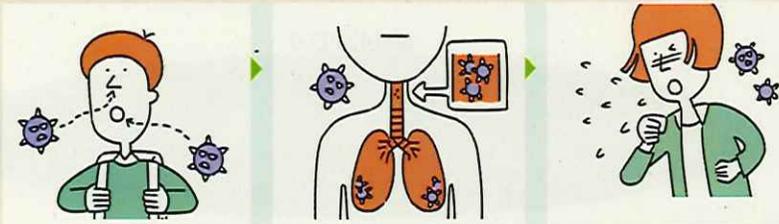
4. 季節性
インフルエンザ
どのような病気？
かかってしまったら
- 

5. 感染予防策
日常での注意点
手指衛生

1. 感染症とは？

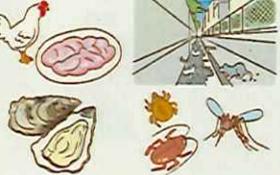
感染症は、病原体が口や鼻、傷口などから入り、からだの中で増える病気。

感染症には、ウイルスや細菌などの病原体が人から人にうつるインフルエンザやかぜのほかに、病原体がついた食べ物や虫からうつる病気もある。



1. 感染症とは？

病原体が体の中に侵入する経路には、大きく分けて垂直感染と水平感染の2種類。

<p>接触感染</p>  <p>特徴 感染者（源）に直接接触して感染する 例 伝染性髄膜炎（とびひ）、梅毒、淋病、結核菌など</p>	<p>空気感染</p>  <p>特徴 空気中を漂う微細な粒子（飛沫核）を吸い込むことにより感染する 例 結核、麻疹（はしか）、水痘（みずぼうそう）</p>	<p>媒介物感染</p>  <p>特徴 汚染された水、食品、血液、昆虫などを介して感染する 例 コレラ（水）、食中毒（食品）、ウイルス性肝炎（血液）、マラリア（蚊）など</p>
<p>飛沫感染</p>  <p>特徴 咳やくしゃみで飛び散ったしぶき（飛沫）を吸い込むことにより感染する 例 インフルエンザ、かぜ、百日咳、マイコプラズマなど</p>		

2. 最近の新型コロナウイルス感染症 感染者数の状況は？

(神奈川県) 10/8まで

定点当たり患者数の推移



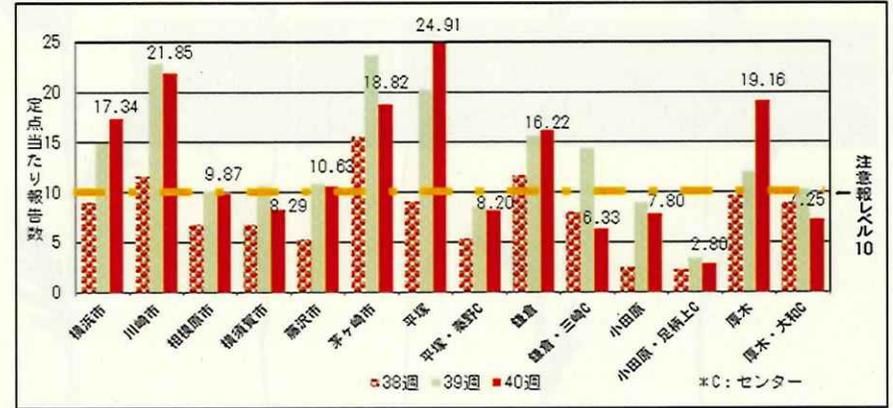
5類感染症へ移行

- ① 感染者の数が分かりにくくなった
- ② 外出自粛の願いがなくなった
- ③ 全員に検査をしなくなった
- ④ ウイルスの性質は変わっていない

新型コロナ モニタリング情報
<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ga4/covid19/k-vision/monitoring.html> ログまたは名前をここに

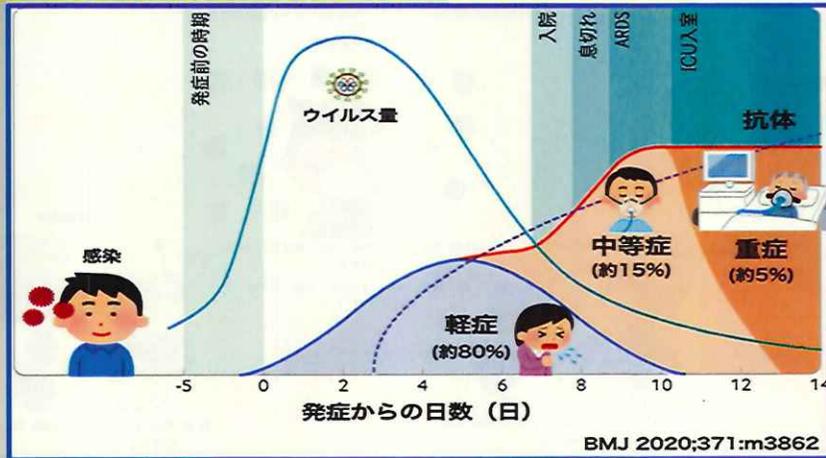
2. 最近の季節性インフルエンザ 感染者数の状況は？

第38~40週(9月18日~10月8日)定点当たり報告数の保健所別推移



ログまたは名前をここに

3. 新型コロナウイルス感染症は、どんな病気ですか？



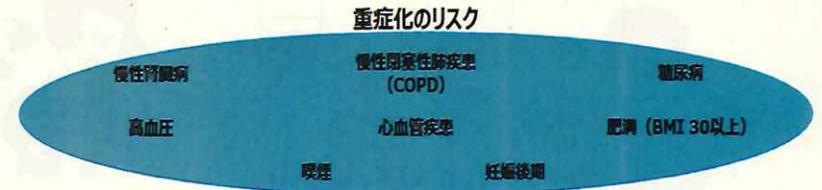
令和4年度院内感染対策講習会④「新型コロナウイルス感染症に関する特別講習会」
 1. COVID-19の臨床像、画像、経過 厚生労働省

3. 新型コロナウイルス感染症はどんな病気ですか？

30歳代と比較した場合の各年代の重症化率

年代	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上
重症化率	0.5倍	0.2倍	0.3倍	1倍	4倍	10倍	25倍	47倍	71倍	78倍

※「重症化率」は、新型コロナウイルス感染症と診断された症例 (重症状を含む) のうち、集中治療室での治療や人工呼吸器等による治療を行った症例または死亡した症例の割合。



出典: 京大西浦教授提供データ及び新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 診療の手引き・第7.2版に基づき厚生労働省作成

3. 新型コロナウイルス感染症にうつってしまったら・・・。

「新型コロナに感染したかも・・・？」と思ったら？

医療機関に行く前に、あわてずに、症状や常備薬をチェック
国が承認したキットを用いてチェック

【検査した時の注意】
検査が早い場合は、自宅等で検査を開始しよう
検査が遅い場合は、検査キットの検体採取方法を確認しよう
検査結果が陽性の場合、マスクの着用や、手洗い等の基本的な感染予防対策を継続しよう
※ 重症化リスクの高い方（高齢者、基礎疾患を有する方、妊婦など）や、症状が重いなど受診を希望される方は、医療機関に連絡しよう

受診する際に、医療機関に連絡しましょう

医療機関、薬局、高齢者施設等に行く時は、感染対策をしましょう

新型コロナウイルスは感染力が強いので
高齢の方や、基礎疾患をお持ちの方を守るために
マスクを着用しましょう

発熱などの体調不良時にそなえて、準備しておきましょう

・新型コロナウイルス抗原定性キット[®]

・解熱鎮痛薬

かかりつけ薬剤師・薬局にお気軽にご相談ください
※ 国が承認した「体外診断用医薬品」を使用してください
「研究用」は国が承認したものではありません

・電話相談窓口などの連絡先

※ 相談センターなどお住まいの地域の相談窓口。「検査利用マニュアル」
#7119（救急電話相談）
#8000（こども医療相談）など
生活必需品なども用意しておきましょう
（体温計・目持ちする食料など）

新型コロナウイルス感染症に感染された方について

発症後5日目かつ症状が軽快して34時間程度は他人に感染させるリスクが高いことから、外出を控えることが推奨されます。また、10日目が経過するまでは、マスクを着用し、周りの方へうつさないよう配慮しましょう。

お世話をする方や同居家族の方について

ご自身の体調にも注意してください。
・感染した方の発症日1日目として、特に5日間は注意してください。
7日目までは発症する可能性があります。
・外出する際には人と密を避け、マスクを着用しましょう。高齢者等のハイリスク層との接触を控えるなど、周りの方へうつさないよう配慮しましょう。

家庭でできる感染対策

1. 窓を開けて換気

定期的に換気しましょう
共用スペースや他の部屋も換気に留意しましょう。

2. 部屋を分ける

可能な範囲で部屋を分けましょう
お世話が必要な方と密接する機会をなるべく減らすようにしましょう。

3. マスクを着用

同居家族は可能な範囲でマスクを着用しましょう
感染した状態に接する時や密接する時はマスクを着用しましょう。マスクを無理なくフィットさせ、正しく着用しましょう。

4. 手洗い等の手衛生

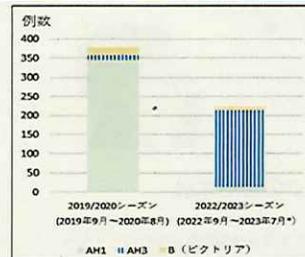
こまめに手洗いしましょう

4. 季節性インフルエンザとはどんな病気ですか？

	風邪	インフルエンザ
症状	鼻水やのどの痛みなどの局所症状。	38℃以上の発熱やせき、のどの痛み、全身の倦怠感や関節の痛みなどの全身症状。
流行の時期	一年を通しひくことがあります。	1月～2月に流行のピーク。ただし、4月、5月まで散発的に流行することも。

＜重症化する危険が高い人＞

- 高齢者
- 幼児
- 妊娠中の女性
- 持病のある方：喘息のある人、慢性呼吸器疾患（COPD）、慢性心疾患のある人、糖尿病など代謝性疾患のある人など



インフルエンザ一問一答 厚生労働省健康局 結核感染症課

インフルエンザウイルス検出状況
（※AM1は名前をここに）

4. 季節性インフルエンザはどうやってうつりますか？

ウイルスをすいこんで感染

感染した人のせきやくしゃみの中のウイルスを鼻や口からすいこむ。



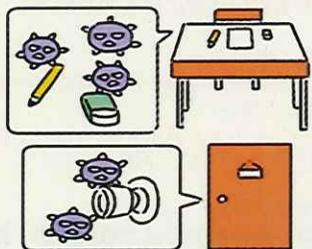
【主な感染場所】

学校や職場、満員電車などの人の多く集まる場所

飛沫感染

手についたウイルスから感染

ウイルスをさわった手で口や目をさわる。



【主な感染場所】

電車やバスのつり革、ドアノブ、スイッチなど

接触感染

（※AM1は名前をここに）

4. インフルエンザにかかってしまったら・・・。

受診の目安

・比較的急速に38℃以上の発熱がでた、せきやくしゃみやのどの痛み、全身の倦怠感を伴う

- インフルエンザに感染している可能性があります。早めに医療機関を受診しましょう。
- 発症から48時間以内に抗インフルエンザウイルス薬の服用を開始すれば、発熱期間の短縮などの効果が期待できます。



出席停止のルール

熱が出た日を1日目として5日間、かつ熱が下がってから2日間は登校はできません。

インフルエンザ（季節性）に感染してしまったら・・・

- ・水分の摂取も必要
汗をかいたときや脱水症状の予防のためにもこまめに水分を補給
- ・咳エチケット
せきやくしゃみをする間は、飛沫に病原体を含んでいるかもしれないので、周りに人がいる際にはマスクを着用しましょう。

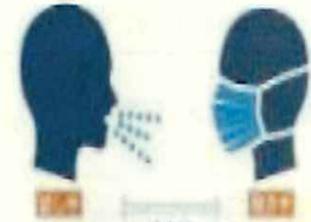
5. 感染予防策は何をしますか？



マスクの着用方法

マスク着用の考え方、東京大学医学研究所のデータを基に内閣官房作成 <https://corona.go.jp/proposal/>

顔と手だけがマスク着用



30 cm

顔マスクなら17%

5. 感染予防策は何をしますか？

感染対策のポイント

帰省等で高齢の方と会う場合や大人数で集まる場合は、**感染予防を心がけて体調を整えるようにしましょう。**高齢者や基礎疾患のある方が感染すれば重症化リスクも高まります。

通院や高齢者施設を訪問する時には、感染予防としてマスクの着用が効果的です。

換気

マスク着用

受診時や医療機関、高齢者施設などを訪問する時

手洗い・手指消毒

通院ラッシュ時など混雑した電車・バスに乗車する時

※事業者の判断でマスク着用を求められる場合があります。



5. 感染予防策は何をしますか？

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで切り合っている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、話し飲みや笑などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、長時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、居カラオケなどの事例が報告されている。
- 車やバスで移動する際の車中での注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の流れや環境の変化により、感染リスクが高まる可能性がある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



ワクチン接種（新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ）

予防接種を受けること

- 予防接種は発症する可能性を減らし、もし発症しても重い症状になるのを防ぐ。

インフルエンザワクチン

- ワクチンの効果が持続する期間は、一般的には5か月ほど。
- 流行するウイルスの型も変わるので、毎年、定期的に接種することが望まれる。

新型コロナワクチン

- オミクロン株流行下では、感染予防・発症予防効果の持続期間等は2~3か月程度。
- 重症化予防効果は1年以上一定程度持続することに加えて、流行株に合わせたワクチンの追加接種を行うことで、追加的な重症化予防効果等が得られると報告されている。

Q 新型コロナワクチンとそれ以外のワクチンは、同時に接種することはできますか。

A 新型コロナワクチンとインフルエンザワクチンの同時接種は可能です。また、それぞれのワクチンを別の日に接種する場合の接種間隔についても制限はありません。ただし、インフルエンザワクチン以外のワクチンは、新型コロナワクチンと同時に接種できません。互いに、片方のワクチンを受けてから2週間後に接種できます。

Q オミクロン株(XBB.1.5)対応ワクチンはEG.5.1系統に対して効果がありますか。

A EG.5.1系統とXBB.1系統の違いはわずかであり、有効性が期待できると考えられる。

新型コロナワクチンQ&A厚生労働省「新型コロナワクチンについて」
<https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/effect/>

病院での予防策 手指衛生



1. 患者に触れる前
2. 清潔/無菌操作の前
3. 体液にばく露された可能性がある場合
4. 患者に触れた後
5. 患者周辺の環境に触れた後

WHO guidelines on hand hygiene in health care "My five moments for hand hygiene"

ロまたは名前をここに

誰もができる予防策 手指衛生

洗い残しの起きやすい部位

手洗いミスの発生部位 手洗いミスをしないために...



小田原市立病院感染対策マニュアルより一部抜粋

ロまたは名前をここに

誰もができる予防策 手指衛生

アルコール擦式消毒剤による手指衛生の手順



小田原市立病院感染対策マニュアルより一部抜粋

ロまたは名前をここに

誰もができる予防策 手指衛生

ミニ知識



外出時にはアルコール手指消毒液を携帯することが奨められる

新型コロナウイルスは眼、鼻、口の粘膜から体内に侵入します。人間は無意識に眼、鼻、口に触れるのですが、その頻度は多く、1時間に23回も触れるというデータがあります。すなわち、3分に1回の頻度で手指が顔に触れているのです。そのため、手指が粘膜に触れる前に手洗いすることが大切であり、手洗いの頻度は多くなります。しかし、石鹸と水道水での手洗いを頻回に行うことは不可能です。手洗いするためには、毎回、手洗い場まで移動しなくてはならないからです。しかし、携帯のアルコール手指消毒液を持っていれば、常に手指消毒することができます。従って、外出時にはアルコール手指消毒液を携帯することが奨められます。

新型コロナウイルスとアルコール手指消毒液

Kwok YL, et al. Face touching: a frequent habit that has implications for hand hygiene. Am J Infect Control. 2015 Feb;43(2):112-4.

ロまたは名前をここに



引用参考文献

- 1) 新型コロナウイルス感染症サーベイランス速報・週報：発生動向の状況把握. 国立感染症研究所
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/2019-ncov/2484-idsc/12015-covid19-surveillance-report.html>
- 2) (2023年4月版) 新型コロナウイルス感染症の“いま”に関する11の知識
- 3) インフルエンザ 問 ー 答. 厚生労働省健康局 結核感染症課
- 4) インフルエンザ (季節性) 対策. 内閣官房内閣広報室
- 5) 神奈川県 インフルエンザ情報 (4) 39週 令和5年10月10日発行神奈川県衛生研究所
- 6) 家族が新型コロナウイルスに感染した時のポイント
- 7) 新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後の対応について
<https://www.mhlw.go.jp/stf/corona5rui.html>
- 8) WHO guidelines on hand hygiene in health care “My five moments for hand hygiene”
- 9) 小田原市立病院感染対策マニュアル